

香南市地域公共交通利便増進実施計画

■ 香南市営バスは定期的に路線、ダイヤの見直し運行を行ってきた。しかし、少子高齢化や免許返納者の増加などにより「自ら移動手段を持たない人」への多様な移動手段の提供が求められ、限られた財源の中で運行する市営バスのみで対応することは困難になりつつある。

■ そこで、新たな交通手段の導入や市営バス路線の新設、重複区間の整理等を行うことで、持続可能な交通体系の再構築を目指す。

計画の概要

【策定自治体】高知県香南市
 【計画区域】香南市全域
 【計画期間】令和5年度から令和9年度までの5年間
 ※2次再編: 令和8年度予定

主な事業にあわせて行う事業・効果

①中心駅(のいち駅)への乗り入れの実現
 駅周辺の整備を行い、多様な路線が中心駅(のいち駅)に乗り入れることで利便性の向上を目指す。

②情報発信の充実
 中心駅(のいち駅)において、デジタルサイネージによる運行情報の発信を行い、利用者に広く情報発信を行い移動の利便性を高める。

主な事業内容・効果

1次再編

①予約式乗合タクシー路線の新設
 利用が少なかった市営バス区間について予約式乗合タクシーを新設し、効率性や利便性を確保する。

②運行路線の重複区間の解消
 市営バス路線が重複する区間について、幹線と枝線の機能を分担させる。

③中心部路線の新設
 量販店や医療機関、観光施設等へのアクセス性を向上するための路線の新設を行い、市民及び観光客の移動の利便性を向上させる。

④運賃体系の見直し
 市営バスの運賃体系を見直し、フリー定期券を導入することで利用促進へ繋げる。

⑤運行回数・ダイヤ接続回数の拡充
 市営バスの運行回数を増加させ、幹線バスや鉄道との接続回数を拡充することで、移動の更なる円滑化を目指す。

2次再編(R8年度予定)

①予約式乗合タクシー路線の新設
 交通空白地となっている地区へ路線を新設し、交通空白地の解消を目指す。

